

京都市

地域と病院の共同作戦

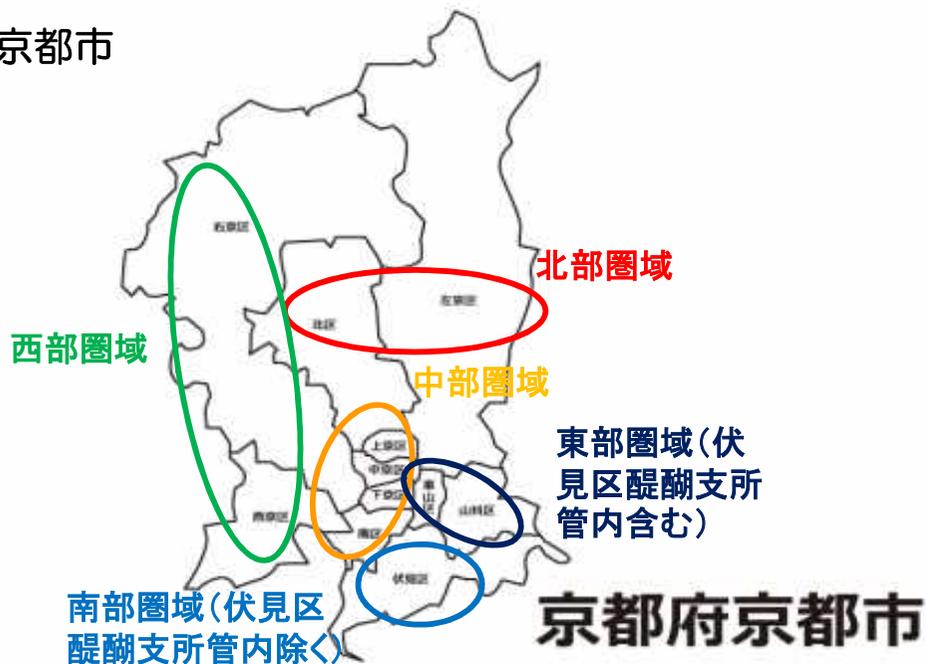
京都市(京都市中部障害者地域生活支援センターなごやか)では・・・

平成17年度から、精神科病院からの地域移行支援を行ってきました。

平成24年度に地域体制整備コーディネーターの配置が全国的に廃止になった後も、京都市では「なごやか」に委託を続けてきました。障害者総合支援法に基づく個別給付となり、近年、ケースの減少がみられるようになりましたが、京都市地域移行・地域定着支援実務者会議を開催して、病院と事業所の橋渡しを行ったり、ピアサポーターの派遣などにより地域への啓発を行ったりしています。

1 京都市の基礎情報

京都市



取組内容

【人材育成の取り組み】

- ・地域や専門職に向けた研修や勉強会
- ・経験の浅い事業所への情報提供等

【精神障害者の地域移行の取り組み】

- ・実務者会議を通じてのケースの共有
- ・ピアサポーターの活用
- ・パンフレットを使用しての普及啓発

基本情報

圏域数 (H28年5月末)	5圏域
人口 (H28年4月末推計)	1,475,125人
精神科病院の数 (H28年5月末)	12病院
精神科病床数 (H28年3月末)	3,263床 (休床除く)
入院精神障害者数 (H27年6月末) ※	3か月未満: 517人 (15.7%)
	3か月以上1年未満: 448人 (18.1%)
	1年以上: 1,889人 (66.2%)
退院率 (H27年6月末) ※	入院後3か月時点: 57.3%
	入院後1年時点: 86.8%
相談支援事業所数 (H27年12月末)	一般相談事業所数: 35箇所 (うち、地域定着支援のみの事業所2箇所)
	特定相談事業所数: 156箇所
障害福祉サービスの利用状況 (H28年5月末)	地域移行支援サービス: 6人
	地域定着支援サービス: 14人
保健所 (H28年5月末)	1カ所 (11保健センター)
(自立支援)協議会 (H28年5月末)	(人材育成について議論): 専門部会なし
	(精神障害者の地域移行について議論): 専門部会なし
精神保健福祉審議会 (H28年5月末)	1回/年、委員数15人

※平成27年度630調査時点

2 精神障害者の地域移行推進のための取組概要

□ 地域移行・地域定着実務者会議

地域移行のケースの報告や会議、事例検討、研修や勉強会の企画・開催を行っている

構成団体

地域移行を行っている支援センター、地域の精神科病院、行政、相談支援事業所

【事務局機能は京都市こころの健康増進センターと支援センターなごやかで行っている】

※今年度はゲストスピーカーを招いて他業種（不動産関係者、司法関係者、民生委員など）にも話をしてもらう予定

開催頻度等

月1回（定例化）の開催を行っている

2 精神障害者の地域移行推進のための取組概要

- 地域等への研修や入院患者向けのパンフレットを使用しての普及啓発

京都市で平成27年1月に作成した「精神科病院からの地域移行・地域定着支援事業のご案内」というパンフレットを使用している。

 - 京都府下の主な精神科病院、行政機関(保健センター)、支援センターに配布を行う
 - 個別のケースでの関わり時に紹介資料として配布、研修会等での配布を行う
- ピアサポート事業
 - ピアサポーター養成講座の開催

平成24年度と平成25年度に養成講座を行い7名の受講生あり
 - 精神科病院OTへのピアサポーター派遣

京都市内の精神科病院のOTプログラムに参加し、地域での生活を伝えたり、患者との交流を通して退院意欲の喚起を行う
 - 地域の講演や大学や研修会でのピアサポーターの派遣による体験談等
地域等からの派遣依頼により、精神障害者の地域生活や地域移行についての普及啓発を行う

3 精神障害者の地域移行推進のための取組経緯

- 平成17年 京都市精神障害者退院促進支援事業試行実施
京都市より「なごやかサロン」へ事業委託
- 平成18年 平成17年の結果をうけて本格実施へ
- 平成19年 都道府県地域生活支援事業へ移行
京都府より「なごやかサロン」に事業委託（京都市圏域）
「アンサンブル」に事業委託（乙訓圏域）
- 平成20年 精神障害者地域移行支援特別対策事業に
京都府より「ほのぼの屋」に事業委託（中丹圏域）
- 平成21年 京都府より「いづみ」に事業委託（山城南圏域）
- 平成22年 京都府より「洛南共同作業所」に事業委託（山城北圏域）
- 平成23年 京都府より「松花苑」（南丹圏域）
「もみの木」（丹後圏域）に事業委託
京都市圏域は京都市より「なごやかサロン」へ事業委託
※現「京都市中部障害者地域生活支援センターなごやか」

3 精神障害者の地域移行推進のための取組経緯

平成24年度 精神科病院やP S W、その他関係機関向けの事業説明や研修を7回実施

平成25年度 医療機関への事業説明を1回実施
支援センターやその他の機関向けの研修会を3回実施
パンフレット作成のための協議を開始

平成26年度 精神科病院の患者向けの事業説明を3回実施
医療・福祉の学生向けの事業説明を3回実施
行政等の研修や会議において事業説明を3回実施
精神科病院の見学を兼ねた実務者会議を開催

平成27年度 医療機関への事業説明を1回実施
行政等の研修において事業説明を1回実施
パンフレット（精神科病院からの地域移行・地域定着支援事業のご案内）の完成，配布を開始

4 精神障害者の地域移行推進における強みと課題

特徴(強み)

- ① 地域移行に積極的に参加している病院がある
- ② 地域定着や訪問看護の事業所等地域で24時間体制の連絡体制を実施している事業所がある
- ③ 行政からの地域移行の相談などもあり官民で協力して行っている
- ④ 地域移行支援事業にこだわらず、病院・施設からの地域への支援を行っている

課題

- ① 病院によって積極性に格差がある
- ② 外泊体験の場が少ない
- ③ 住まい確保や地域定着の人員体制など受け皿を確保するのが難しい
- ④ 相談支援事業所数が増えているが、実際の地域移行支援事業のケース数は大きく増えていない

5 精神障害者の地域移行推進のための本年度のスケジュール

今年度の目標

- ① 地域移行支援の拡充(ケースの増加や実施事業所の増加)
- ② 地域や関係機関への普及啓発(入院患者の意欲向上、関係機関への意欲喚起)
- ③ 関係機関や支援者の支援レベルの向上(支援技術や必要な情報の共有)

時期(月)	実施内容	担当
4月～7月	相談支援事業所へ実態等調査のためのアンケートの実施	行政・相談支援事業所・病院関係者
9月	相談支援事業所向けの研修及び精神科病院見学	同上
10月～	実務者会議にゲストスピーカーを招き、知識や協力機関の拡大向上	同上
1月 通年	地域に向けた研修会 ピアサポーターの病院OTへの派遣	同上 支援センターなごやか